



# 北東西南 (NEWS) 2020年 新年号

発行所 和歌山高齢者生活協同組合  
住 所 和歌山市里198-1  
TEL (073)488-1180

ホームページ

人生の完成期、輝いて生きる！

組合員数 4,224名 (2019年11月30日現在)

- ・特集「和歌山高齢協  
20年を振り返る」  
1～2面
- ・新春特別座談会  
「共に歩んだ20年」  
3面
- ・介護者がホッとできる場  
「ほちほち-KOKKA」  
4面

## 「人生100年時代」に向けて



### 写真説明

- ①戦争を語る・聞く会
- ②竹とんぼリーダー養成講座
- ③市民農園
- ④梅取りツアー
- ⑤てまり作り「いっぷく亭」
- ⑥伊都の利用者さんと温泉
- ⑦製塩事業
- ⑧ココプロプロジェクト
- ⑨パソコンサークル「JIAS PC」

**20周年迎えた  
和歌山高齢協**

みなさんのおかげで20年を迎えることができました。

時代は厳しさを増し、不安の幕が重く、広く垂れ下がっています。

高齢協は、力を寄せ合って一人ひとりの「困った」を解消するサービスを実現し、それがいつか自分に還ってくる、そんな循環をつみだす組織です。例えば、生活の困りごとを支えるお助け隊の活動は、誰かの役に立てる「生きがい」と収入においては「年金+α」へとつながり、将来の不安を減らす要因になります。しかし、まだまだ不足しています。

『人生の完成期、輝いて生きる』。実現のために、笑顔をうみだす「協同の力」で、共に楽しく、あたたかい地域を目指していきましょう！

和歌山高齢者生活協同組合

# 高齢協 発祥の精神



創立総会の様子(1999年)

## 安心して暮らせる福祉を

障害児者の作業所運営や支援を行う社会福祉法人、一麦会(麦の郷)の運動がルーツ。障害者を子にもつ親、そして障害者自身も、歳を重ねていく不安を抱え、地域社会も、進む高齢化に対し漠然とした不安を抱いている課題に直面していたため、高齢者も障害者も安心して暮らせる福祉の実現を目指し1999年に誕生しました。

元気な高齢者が育てる健康ニフトリの卵を障害者作業所のパン作りで使用するなど、ユニークな活動の中に、儲けではなく、優しさを根底にすえた活動が多くありました。介護への不安の声が多く寄せられ、ヘルパー講座を開講し、受講生たちで介護事業所を設立し、県内各地での展開につながりました。

近年は、生きづらさを抱える方を意識し、地域共生のための総合拠点計画を進めています。

## 二十年の軌跡

地域と共に、シニアと共に歩んだ20年。様々な生きがいや居場所づくりに取り組みました。

### コッポプロジェクト(1999〜2008)

元大工、元電気屋などの組合員が集まって平飼いニフトリを飼育。「定年退職後の明るい高齢者の姿」と取り組みの珍しさがマスコミをにぎわしました。同様の発想で、自然塩づくりも人気を博しました。

### お助け隊(2000〜2017 2020〜)

「一人暮らしはちよつとしたことに困る」ことに気づいた、男性組合員の発想から誕生。小修理や剪定などを低価格で実施(和歌山、岩出、橋本、御坊、田辺)。近々再開予定。

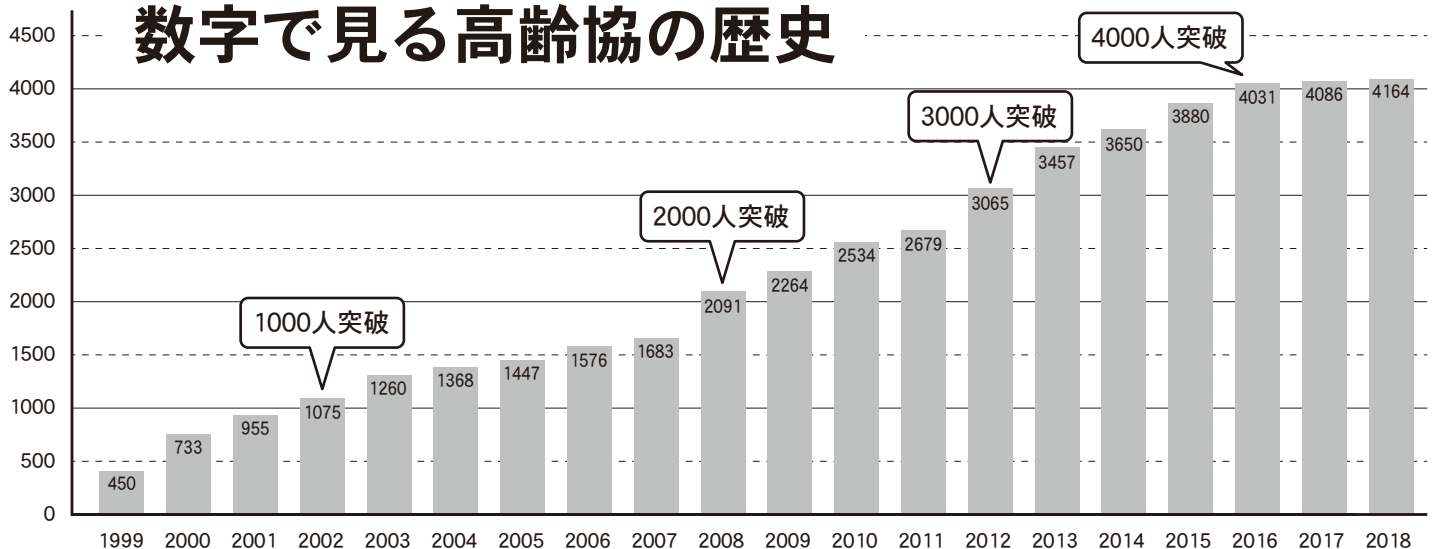
### 団塊パワープロジェクト(2007)

和歌山市の市民提案実施事業で採択。団塊世代向けに、退職後の地域社会デビューを応援する企画を1年かけて実施。「農」「はたらく」「福祉」「遊ぶ」がテーマ。

### かみとんだおたっしや館(2008〜)

高齢者の住まい確保のために、地元有力者の支援で、12室の高齢者専用賃貸住宅を開始。世の中の不安を裏打ちするように、キャンセル待ちが数十名。家賃の安さも大評判をえました。

## 数字で見る高齢協の歴史



※和歌山県内高齢化率(65歳以上の人口割合) 1999年度=20%、2018年度=31.5%

# 輝く！ 組合員！

## 新春特別座談会



「人のために役立つ」を生きがいとする組合員による「お助け隊」。「庭の手入れが難しくなった」「家財道具の整理をしたいけど...」。加齢による暮らしの困りごとを解決するお助け隊の活動をテーマに、長年携わってきたメンバーが語り合います。題して「高齢協・男の酒場」開店です。  
 (出席＝田中秀樹、中西優、宇治田康司、神谷治良、浜田重昌、福田輝雄、田村恭司 文中敬称略)

## 共に歩んだ20年

**宇治田**「お助け隊は、生きがいということころの仕事おこしを長年続け、当ても今も気持ちは青年で活発に取り組んできた。本来行政が担うべき『公助』が先細り、『自助』『共助』頼みの国の政策が進む中、住民間の『お互いさん』で助け合うことが求められている。お助け隊はそういったことを率先して行ってきた」

**浜田**「現役時代の技術や経験、知識を生かして誰かの役に立てるのが魅力。依頼は草刈りや剪定が多く、『ありがとう』と言ってもらえるのがやりがい」  
**神谷**「懐かしいのは桃山で鶏の世話をしたコッコプロジェクト。それぞれの得意を活かして、小屋づくりや水飲み場などを手作りした」

**田村**「この間、和歌山市の雑賀崎地区で草刈りの依頼を受けた。地区内は空き

家が増え、空き家を壊すと雑草が生える。『家具を運び出すにも高齢のためできない』など、地域の課題は増えている」

**福田**「自分たちの生まれ育った家に戻らない若い世代が増えているのは寂しい。依頼はリピーターが多い一方、隊員の高齢化が進んでいる」

**宇治田**「年金が減らされて日々の暮らしが厳しくなる中、死ぬまで働かないといけないという人も出てきている。お助け隊として元気に活動する60代前後が会社で働くようになり隊員確保が難しく」

**浜田**「後継者難がある一方、相続問題、老後の苦しみ、外国人労働者、空き家や耕作放棄地の問題など、取り組むべき課題がたくさんある」

**中西**「活動の掘り起こしや隊員確保には、組合員にとつてのメリットが大事。他府県では墓地事業を行う高齢協もある。一人ひとりが抱えている課題に寄り添った活動を念頭に置きたい」

**田中**「買物で困っている人も増えていて、特別な知識や技術がなくて



も誰かの力になれる活動はある。地域で活躍したいと思っている人と困っている人、互いにうれしい仕組みをもっと知ってもらおう必要がある」

**宇治田**「定期的に高齢協・男の酒場を開き、誰でも気軽に参加してもらい、気心の知れた関係を広げてゆく。それが、お助け隊の仲間を増やし、様々な地域課題に対応できる組織へとつながってゆくはずだ」



### お助け隊、新規隊員募集

「剪定」「庭の手入れ」「不用品の整理・処分」など依頼に応じ、隊員のできることや都合の良い日時を調整して活動する有償ボランティアです。

「お助け隊への依頼」「入隊希望」は高齢協本部事務局へお電話(073・488・1180)ください。

# 高齢協の ここに注目!!

①ケアする人のためのカフェ

## ぼちぼちIKOKA



2018年1月20日撮影

### 介護者の声に耳傾ける

— カフェを始めたのは。

「2013年にケアする人のためのケアセミナーが和歌山市で開かれ、家族介護をしている人、福祉関係の職員ら150人以上が集まり、ケアする人を支える仕組みの必要性を感じました。また、メディアで紹介されると、介護で困っている人や『ストレ

自宅介護する世帯のうち、65歳以上の人が65歳以上の人を介護するいわゆる「老老介護」世帯が、厚生労働省の発表によると54.7%。JR和歌山駅前のみその商店街にある「アートサポートセンターRAKU」では毎週土曜、そうじた介護者たちが日ごろの思いや悩みを語り合うカフェ「ぼちぼちIKOKA」が開かれています。5年間、介護者たちの声に耳を傾けてきた共助のまちづくり協会の理事長の島久美子さんに活動への思いを尋ねました。

スで怒鳴ってしまった』と後悔している人など、たくさんの人から問い合わせの電話が相次ぎました」

— 特徴は。

「例えば、介護をする中で親が衰える姿を見て切なさを感じる人がいます。この場合、相談対応で解決できることではなく、気持ちを吐き出せる場があれば、本人の気持ちも少し楽になります。相談は専門機関になくとして、ここは『じっくり話を聞いてもらえる場』にしています。専門的な訓練を受けた傾聴ボランティアが対応し、3年続けて来てくれている人は『ここがあるから介護を続けられている』と頼りにしてくれています」

### 心の負担話して整理

— 活動は6年目に入りました。

「話を聞いていると、家庭内暴力や認知症など、介護で感じるしんどさの深いところにある原因が見えてくることがあります。必要に応じて専門機関を紹介することも。長年、必死に介護を続けてきた人が亡くなった家族

への介護の後悔を話したり、今現在介護をしている人はその思いを話したりとそれぞれ。大事なことは話すこと。心の負担が大きくなる前に誰かに聞いてもらうことで気持ちの整理ができます。話しに来てくれる人だけでなく、傾聴ボランティアに興味を持って来てくれる人もいますよ」

— 今後は。

「カフェに来たヘルパーさんから『利用者さんのケアはできるけれど、居合わせる疲れた様子の家族は制度上、支援できないので辛い』といった声も聞きます。介護が原因で家族を殺めてしまつ事件も起きており、こうした取り組みはますます大切になっています。一方、介護者を支援するための公的な仕組みがまだまだ整備されていません。活動を地道に続け、法整備も含めてそういった仕組みを求める社会につながってゆけば良いですね」

### ～ケアする人のためのカフェ～ ぼちぼちIKOKA

日時：毎週土曜午前11時～午後3時  
会場：JR和歌山駅前みその商店街内  
アートサポートセンターRAKU  
参加方法：申し込み不要、出入り自由  
費用：飲み物代100円（持ち込み可）  
問い合わせ：（一社）共助のまちづくり協会  
090-8533-1938（島）  
共催：（一般社団法人）共助のまちづくり協会  
和歌山高齢者生活協同組合

# 告知板 「この指と〜まれ！」

## 「紀和庵 1月の行事」

住所 和歌山市中之島 782

- ・ 9日(木) … 歌を歌おう 1時半～
- ・ 14日(火) … 新年会 11時半～
- ・ 16日(木) … 絵手紙教室 1時半～
- ・ 21日(火) … 体操 1時半～
- ・ 23日(木) … 折り紙教室 1時半～
- ・ 28日(火) … 名曲喫茶 1時半～
- ・ 30日(木) … カラオケ教室 1時半～

参加費等詳細とお申し込みは高齢協事務局 (073-488-1180)。



2017年撮影

## 「わがらカフェで『もしバナ』」

1月18日(土) 午後1時半と3時の2回、紀の川市上野の和我楽の家。

余命半年の想定で、大事にしたい言葉を選ぶカードゲーム「もしバナ」。自分自身の価値観を考え、他の参加者と共に語り合う中で、揺れ動く気持ちを体感できます。人生の最期、どう在りたいか、「もしものための話し合い」を体験してみませんか。

100円。希望者は1月15日までに高齢協事務局(073-488-1180)。



## 「高齢協 Facebook ページ開設」

随時更新中

世界 23 億人、日本でも 2800 万人が利用するソーシャルメディア「フェイスブック」に高齢協の専用ページが誕生。組合員の活動や高齢協が主催するイベントなど、楽しい情報を随時発信しております！

「和歌山高齢者生活協同組合」で検索。ページへの「いいね！」よろしく願いいたします。



「仕事起こし」分野においては、営繕、養鶏、製塩、葬祭といった事業が立ち上がり、活動する仲間が総勢82人、また、地域福祉施設との共同連携から生まれた送迎、配達、配食、清掃の分野で「委託事業」として総勢47人の仲間が活動に参加しました。

こうした生き生きと活動する仲間たちが増えるにつれ、「まだまだ現役時のような働き方をしたい」と希望される方々もあられたことから、地域福祉施設への直接雇用の働きかけを行い、「麦の郷」を中心とした2法人14事業所へ総勢32人が就労する機会を得ました。

10年間の活動の中で在宅高齢者、障害当事者家族、福祉施設等との「コミュニケーション」が深まっていくにつれて、日常の暮らしの中で「種々の困りごと」の多さに驚き、「これでいいのか」という危機意識を抱かざるを得ない状況に遭遇してきました。

「こうした問題をそのまま放置しておけない」「自分たちでも何かができるはず」との思いから、「シニアボランティアほっとけやん倶楽部」を「麦の郷」を中心とした福祉施設との協力連携を得て発足させました。

次号では、高齢協が成人期を迎えるまでの10年を振り返ります。

和歌山高齢者生活協同組合(高齢協)は、「人生の完成期、輝いて生きる！」を理念として1999年、全国12番目の福祉生協として設立・認可を受けました。翌年の2000年から始まった介護保険制度に合わせ、介護事業を開始しました。今号では、創成期の10年を振り返ってみます。

**コラム**  
**和歌山高齢者生活協同組合創立20周年を迎えて**  
 第一部 創成期―地域福祉施設との共同、連携から生まれた事業―  
 地域に生まれた多様な生活を支える元気シニアの形  
 宇治田 康司(和歌山高齢協副理事長)

# 活動レポート



どこ竹リーダー養成講習

開催：9/8 会場：和歌の浦アートキューブ  
 内容：竹とんぼ作り教室を開く「どこ竹わかやま」が指導者養成講座を開催。組合員はじめ約 10 人が受講し、新たに 8 人のリーダーが誕生しました。



世代間交流フェスティバル

開催：11/2 会場：橋本市立伏原体育館  
 内容：地域交流、世代間交流を深めるべく開催。訪問介護利用者さんにも来場していただき、舞台鑑賞、茶席や昼食などを楽しみました。



20周年記念パソコン体験

開催：10月中 会場：いっぶく亭～紀和庵  
 内容：高齢協 20 周年記念企画で JIAS PC が 10 月中の毎週月曜と隔週金曜に開き、大勢の方が訪れました。写真や文書の印刷、DVD や CD の作成を一緒に楽しみませんか。



パンダカフェ

開催：10/9 会場：白浜ぬくもりの里  
 内容：白浜で人気のパンダの着ぐるみが登場。パンダ君と共に、DVD で認知症に対する受け止め方や接し方について学び、頭の体操を楽しみました。



島根・鳥取を訪ねる旅

開催：11/20-22 訪問地：島根県、鳥取県  
 内容：高齢協旅行倶楽部主催。日本庭園がある足立美術館や松江城を訪ね、深い歴史や美しい景色を堪能。山陰を代表する玉造温泉と湯村温泉で癒されました。



山回地区文化祭

開催：11/3 会場：和歌山市立山口小学校  
 内容：毎年恒例の地区文化祭。地元各種団体の出店やステージ発表に加え、高齢協からは紀和庵やささえ愛センター利用者さんの作品を展示しました。

## 高齢協と一緒に働きませんか

高齢協は県内 11 ヲ所で介護福祉事業所を展開中。以下の事業所にて、職員を募集しています。ご興味のある方はご一報ください。



本部事務局 (073-488-1180)

施設(場所)	募集職種	雇用形態
ケアセンターおたっしや倶楽部 伊都・橋本ケアプランセンター (橋本市)	介護支援専門員	常勤
ケアセンターおたっしや倶楽部 田辺事業所(上富田町)	訪問介護員 (サービス提供責任者)	常勤
やまぐちおたっしや館 (和歌山市)	調理員 訪問介護員	非常勤 非常勤
ケアセンターおたっしや倶楽部 れくらん(和歌山市)	通所介護員	非常勤
ワークショップ てとて (和歌山市)	障がい者就労支援員 (支援員・送迎・事務)	非常勤

## 映画紹介「ムービーガイド」

にちにちこれこうじつ

作品名：日日是好日

監督・脚本：大林 立嗣 原作：森下 典子  
2018年製作/日本/100分 配給：東京テアトル、ヨアケ

茶道に魅せられた女性の 25 年にわたる日々を、静かな筆致で描く佳作。茶道の師匠に樹木希林。さりげない仕草や表情に、時と共に流れゆく人の世のはかなさが浮かび上がる。主人公の 25 年には、肉親との別れや恋人の裏切り、就職の失敗など様々な事が起こる。それに対して「日々、変わらないことが幸せなんです」と言う師匠の言葉は、心に残る。そんな日常の喜びを、淡い色彩でスケッチしているのがこの映画の魅力だ。



わかやま訪問介護事業所 島 哲也

## 和歌山高齢者生活協同組合の姿

和歌山高齢者生活協同組合は組合員さんによる互助組織であり、互いの困りごとを助け合う集団です。生きがいづくり事業やお助け隊による生活支援など活動は多岐にわたり、介護・福祉事業にも力を入れています。

### ◎介護・福祉事業所(和歌山県内 11 ヲ所)

- ・わかやま訪問介護事業所(訪問介護)  
和歌山市楠見中 240-49 電話 073-455-7979
- ・和歌山ケアプランセンター(ケアプラン作成)  
和歌山市中之島 758 電話 073-424-5295
- ・やまぐち おたっしや館(サ高住)  
和歌山市里 198-2 電話 073-462-1055
- ・れくらん(デイサービス)  
和歌山市里 198-2 電話 073-462-5558
- ・ワークショップてとて(障害者就労継続支援 B 型事業所)  
和歌山市里 266 電話 073-461-6756

- ・伊都・橋本事業所(訪問介護)  
橋本市高野口町伏原 243 電話 0736-43-1546
- ・伊都・橋本ケアプランセンター(ケアプラン作成)  
橋本市高野口町伏原 243 電話 0736-44-2330
- ・御坊・日高事業所(訪問介護)  
御坊市蘭 531-7 電話 0738-23-0396
- ・かみとんだ おたっしや館(サ高住)  
上富田町生馬 3225-19 電話 0739-47-0866
- ・白浜ケアプランセンター(ケアプラン作成)  
白浜町才野 1322 電話 0739-34-2672
- ・白浜めぐもりの里(デイサービス)  
白浜町才野 1322 電話 0739-34-2172

### ◎組合員による活動拠点(施設の使用、問い合わせなどは本部事務局 073-488-1180 へ)

- ・やまぐちささえ愛センター 和歌山市里 198-3
- ・いっぶく亭~紀和庵 和歌山市中之島 782
- ・和我楽の家 紀の川市上野 299-1

### ◎組合員の活動(ご参加ください)

【お助け隊】和歌山、伊都、田辺を中心に活動。暮らしの中の困りごとの解決依頼を受け、現役時代の知識や経験を生かして有償ボランティアで活動する。

【JIAS PC(パソコンサークル)】月曜と金曜、紀和庵にて。パソコンを使つてのアルバム作成やワープロの練習、使い方の教え合いなど。(北村さん 090-7107-0892)

【どこ竹@わかやま】竹とんぼ作りの出前教室を小学校やイベント会場で開催。(石橋さん 090-2287-9588)

このほか、ささえ愛センターや紀和庵では、健康体操や絵手紙教室、名曲喫茶など組合員による自主企画が行われています。

◎本部事務局(和歌山市里 198-1 電話 073-488-1180 FAX073-488-1181)

# みんなの広場

「冬の庭に彩りを添えてくれる葉ボタン。いつも通っているささえ愛センターの玄関に飾らせてもらいました」

ささえ愛センターご利用者

小林 勇さん



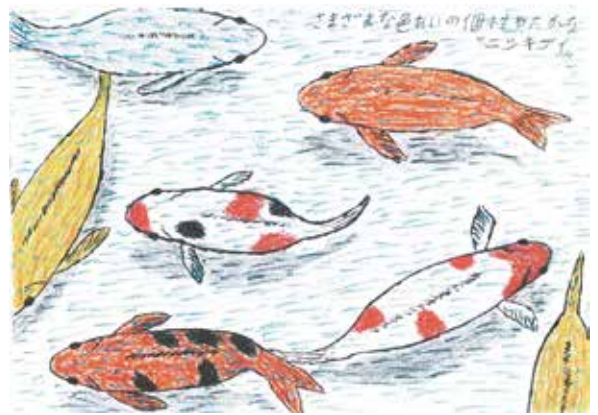
このページは組合員みんなで作る投稿ページです。それぞれの趣味や活動でできた作品、うれしくてみんなに知ってほしいことなど、形式は問いませんのでご自由にご活用ください。(応募多数の場合、掲載できないことがあります。ご了承ください)

〈申し込み先〉和歌山高齢者生活協同組合 本部事務局「通信」係  
 郵送：〒649-6311 和歌山市里198-1  
 FAX:073-488-1181 メール:jimukyoku@s-co-op.or.jp  
 お問い合わせは本部事務局(073-488-1180)

「山口・岩国の錦帯橋」



「さまざまな色あいの個性豊かなニシキゴイ」



わかやま訪問介護事業所 ご利用者  
 山下 慈さん

## ◆◆ 新任・退任のごあいさつ ◆◆



新任 本部事務局員  
 林 祐司

地元紙の新聞記者から転身。通信の作成や地域の方々とつながりを仕事に生かします。



新任 御坊・日高事業所長  
 小林 恵子

毎日楽しく、発見の連続です。還暦過ぎでの挑戦、ワクワクしています。よろしくをお願いします。



新任 本部事務局員  
 小松 恵理菜

3年前、結婚を機に徳島から引っ越してきました。和歌山のことを知っていただきたいので、様々な情報教えてください。



退任 御坊・日高事業所長  
 大笹 肇子

私が長期に渡り勤務させていただけたのは、高齢協だったからです。思うことを伝え、できることを行い、充実しました。

## 組合員 新規加入&増資のお願い

高齢協は出資金を持ち寄って、組合員相互の助け合いの精神で活動する生協法人です。20歳以上で和歌山県内に住所（もしくは勤務地）を有する方ならどなたでもご加入いただけます。ご加入の際にお預かりした出資金は高齢協の事業に使われています。事業拡大に伴い、既組合員の方には増資（出資金を追加する）をお願いしております。ご協力をお願いします。

### ■新規加入・増資の方法

- ①所定の加入（増資）申込書にご記入ください。
- ②出資金（一口 1000円〜）と申込書を、高齢協の各事業所か本部へご持参ください。

※申込書は高齢協の各事業所・本部・活動拠点にあり、郵送も致します。

出資金振り込みの場合…紀陽銀行東和歌山支店  
 普通 1647037

和歌山高齢者生活協同組合 理事長 田中秀樹  
 お問い合わせは本部事務局

和歌山市里198-1 電話073-488-1180 FAX073-488-1181

### ■加入によるメリット

- ・それぞれの「やってみたい」を助け合って実現できる
- ・組合員活動に参加することで、新しい仲間や生きがいの出会いがある
- ・高齢協からの通信が年4回届く などなど